



平成28年度 桜川市立榎小学校の教育

本県教育目標
いばらき教育プラン

学校教育目標
自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童を育成する。

桜川市教育目標
家庭・地域の願い

目指す学校の姿

- 一人一人を大切に作る学校
- 活力のある学校
- 信頼される学校
榎小のシンボル
「きささげの木」



目指す児童の姿

- めあてをもって、勉強にはげむ子
 - なかよく、助け合う子
 - 健康で、たくましい子
- きささげ … きれいな心 やさしい心
… ささっとすすんではたらく
… げんきなあいさつ

目指す教師の姿

- 一人一人のよさを伸ばす教師
- 明るく、人間性豊かな教師
- 研修に励み、向上心に満ちた教師

学校経営の方針

学習指導要領，学校教育指導方針の内容を的確にとらえ，R-P-D-C-Aのマネジメントサイクルにより，全職員が協働し組織力を高め，活力のある学校づくりを目指す。

本年度の重点

- 1 個に応じた指導の充実（少人数指導やTTの積極的な推進）
- 2 言語活動の充実（書く活動・話し合い活動，読書活動）
- 3 家庭学習の習慣化（学習時間 学年×10+10分の目安）
- 4 マナーアップ（きささげ・無言清掃）運動の推進
- 5 安全指導の徹底（交通安全，防災教育の推進）
- 6 小中一貫型教育の推進（小中・小小・教職員連携の具体化）

組織目標
2・4

学力向上プロジェクト

- (1) 基礎的・基本的な内容の確実な定着
 - 個に応じたきめ細かな指導（補充的な学習や発展的な学習，少人数・TT）
 - 振り返りを重視した学習の実践
 - 文字力・計算力テスト，視写，百ます計算，活用力強化タイムの実施
 - 学力診断テスト，全国学力・学習状況調査等の分析と活用
 - 家庭学習の習慣化 ※小小連携
 - (2) 思考力・判断力・表現力等をはぐくむ指導の工夫（榎スタイル）
 - 言語活動の充実（書く活動，話し合い活動，読書活動）
 - 体験的な活動や問題解決的な学習
 - 地域素材・人材を生かした学習の実施
 - (3) 社会の変化に適応できる能力の育成
 - キャリア教育の推進
 - 外国語活動，ICT教育の積極的推進
- ★学力診断テスト県平均15点アップ
★年間読書50冊低学年90%高学年90%
★家庭学習の習慣化 90%

豊かな心育成プロジェクト

- (1) 人権教育の充実
 - 自他のよさを認め合う学級づくり
 - いじめ防止のための体制づくり
 - 教育相談の計画的な実施
 - (2) 道徳教育の充実
 - 全学級道徳公開授業の実施
 - 勤労・奉仕体験，福祉体験の充実
 - (3) 特別活動の充実
 - 異年齢集団活動の充実
 - 構成的グループエンカウンターの実施
 - 合同宿泊学習の実施 ※小小連携
 - (4) 積極的な生徒指導の推進
 - 触れ合いを基盤とした児童理解
 - 「榎小生活のきまり」の指導の徹底 ※小小・小中連携
 - 気になる児童の組織的な援助指導
 - (5) 特別支援教育の充実
 - 特別支援コーディネーターを核とした校内研修の充実
- ★全校欠席0の日 50日
★元気よくあいさつする児童 90%
★進んで働くことのできる児童90%

体力向上プロジェクト

- (1) 体力の向上
 - 体育授業の工夫・改善（運動量の確保）
 - がんばりカードの作成と活用（持久力，投力・泳力アップなど）
 - 業間運動や昼休み時間の遊びを通しての体力の向上を図る工夫
 - 体力テスト等の評価と改善（体づくり運動など補充運動の日常化）
 - 体育的行事の工夫
 - (2) 学校健康教育の充実
 - 食に関する指導の充実
 - 学校保健安全委員会，地域学校安全委員会の開催・運営
 - 避難訓練，交通安全教室，歯の健康教室，薬物乱用防止教室など関係機関との連携
 - 家庭との連携（早寝・早起き・朝ごはん ポイントシート作成） ※小中・小小連携
- ★体力テストA+B 65%以上
★朝食摂取率 100%

家庭・地域社会との連携・強化プロジェクト

- 学校評議員会の充実，学校評価の実施・公表・活用，榎わくわくクラブ（コミュニティ組織）との連携
- 情報発信（学校だより，学年だより，人権通信，保健だより等の発行，ホームページ，学校連絡メール）